１０月１１日　　建設工業新聞

連協
建建
北県
東6

相互支援協定に調印

先進事例として全国に発信

東北建設業協会連合会（東北建協連、佐藤博俊会長）と東北6県の各建設業協会は10日、災害時の相互支援に関する協定を結び、青森市のホテルで調印式を開いた‖写真。大規模災害時に、被害が軽度で余力のある県協会が、被害が大きい県協会に対し、応急物資や資機材などを提供・あっせん。応急対策に必要な職員の派遣なども行う。地方ブロック全体でこうした協定が結ばれたのは初めて。佐藤会長は調印式後の記者会見で「東北6県は一つということで、どこで災害があっても近い県が支援し、災害復旧や人助けができるよう備えたい」と語った。

相互支援協定は、東北建協連が東日本大震災を踏まえて8月にまとめた提言に盛り込まれていた。佐藤会長は「（大規模災害時に）油がなく、食事ができないようでは地域の安全・安心を守れない。お互い助け合っていくことが必要だ」と指摘し、「（発注者との）災害協定にも補足的に盛り込んでいきたい」と述べた。さらに、「（協定は）1000年に一度の災害を体験したことによるものだ。全国で活用できる」と、同様の協定がどの地域でも有効に活用できるとの見方を示し、先進事例として広く発信していく考えも示した。